

ふたりのコラム

March 16, 2021

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子
認定こども園メイプルキッズ 施設長 新井利枝

《3・4・5歳児》

ご卒園おめでとうございます

今年の桜の開花は、平年より10日あまり早いそうです。確かに、日差しがとても暖かに感じられます。本日、卒園式が無事挙行され、緊張する姿があるものの、自信に満ち溢れた様子がかげえました。あかみ幼稚園で生活し、好奇心や探求心旺盛に遊んだたくさんの学びをもとに、これからも学習に積極的に取り組んでほしいと思います。

また、5歳児の最終目標である、自分も大切、相手も大切にしながらお互いがよい方法を考え出す「合意の形成」を行いながら、今後も、人とのかかわりも大切にしてほしいと願っています。



さて、3・4歳児クラスの皆さんは、まもなく修了式を迎えますね。

4歳児スタート時は、クラス替えがあり、新しい友達や環境に慣れ、そして新たに自ら友達とかかわる経験を重ね、思うようにいかず、葛藤する場面もあったかもしれません。また、5歳児クラスのお店屋さんを見て、自分でも作ろうと具体的なイメージが広がったものの、まだ、手先の作業性が伴わず、くじけそうになったこともあったかもしれません。4歳児は、小さい挫折や自分との葛藤も多くある時期です。これは、大切な経験の一つです。3学期になり、頑張ろうと決めたことに向かい、それができたことで、自信を持つ経験もしてきました。この「自己肯定感」を持つことの積み重ねは、今後の人生の中で前向きに事柄に取り組もうとする姿勢に繋がる大切なことです。

3歳児の現在、生活がほぼ自立し、自分のことは自分でできるようになり、お気に入りの場所や遊びが見つかり、自分で遊びに向かうことができるようになってきました。人に強制されてではなく、自分で遊びを始め、切をつけて終わらせることは、自立の第一歩です。また、数人から始めた鬼ごっこ（むっくりくまさん）にどんどん友達が加わってくるようになるなど、みんなと一緒にいる楽しさを感じることができるようになってきました。

このように、5歳児の卒園を迎えるまでに、たくさんの経験があり、それを私たちは一つ一つ大切にしながら子どもたちとかかわってきました。5歳児の保育者たちはもちろんですが、当法人のすべての職員が、子どもたちの羽ばたきをうれしく思い、これからは応援しています。このコロナ禍において、今日の良き日をみんなでお祝いすることができて本当に良かったです。

もり組の皆さん、ご卒園おめでとうございます！！

かっぱ石

あかみ幼稚園には、ビオトープの近くに『かっぱ石』といわれる石があります。もり組が、その石の上にキュウリを置いたりしているのです。この1年間、もり組では、かっぱについて調べたり、見つけに行ったりしましたが、かっぱに会うことはできませんでした。先日、どうしてもかっぱに会いたいということで、あかみ幼稚園ですっと大切にしているかっぱの紙芝居を各クラスで読みました。その紙芝居には、かっぱに関する重要なことが書かれていました。紙芝居が読み終わるとすぐ、子どもたちは園庭に出て、かっぱ石に耳を当てたり、水をかけてあげたりしていました。



かっぱの紙芝居について、もり組以外は、保護者の皆さんだけにお知らせします。

川の水が濁り、住みにくくなったかっぱは、あかみ幼稚園のビオトープの近くで、生き石となり、川がきれいになるのを待っている…。という話です。園庭にいらした際に、保護者の方々もそっとそのかっぱ石をご覧ください（決して「これがかっぱ石だよ」などと子どもたちに教えなくてくださいね。子ども同士で伝承され、クラスで話題にしていきますので…）。子どもから、かっぱの話が出てきたときに、そうかあの事か…と、ひそかに思ってください。心揺さぶられる経験は、想像力を豊かにし、それが創造する力につながっていく大切な経験です。

働き方改革の現況

今、働き方改革を行い数年が経ち、現在ICT化導入で、保育以外の作業を削減し、よりよい保育を目指すとともに、労働時間の削減に努めているところです。保育者が疲れていては、良い保育ができません。いろいろな角度からより良い方法を模索中です。例えば、土曜日の保護者集まり（理事会等）の託児受け入れ人数の削減など可能な範囲でご協力いただき、などの検討です。

また、何かありましたらお伝えします。

最後に・・・

今年度、始まるや否や緊急事態宣言が発出され、どう保育を進めていけるのか心配もしましたが、主任をはじめ担任、副担任、サブフリー等の保育者たちが知恵を出し合い、協力し合って、子どもたちの成長を促すことができました。また、保護者の皆様方におきましても、感染拡大防止のための日々の健康管理・園との連携や登園自粛へのご協力をいただき、誠にありがとうございました。そして、繰り返しになりますが、保護者会三役さんを中心とした皆様には、今、置かれた環境下での最善と思われる方法を考えご協力をいただきありがとうございました。まだまだ、コロナの状況は続きますが、皆様方の力強い応援で、一步一步進んでいけます。今後どうぞよろしくお願い致します。

修了式までまだ数日ありますが、1年間ありがとうございました。

（文責：中田）

《0・1・2歳児》

本日は卒園式でした。あらためまして、もり組の保護者の皆様

ご卒園おめでとうございます。

保護者の皆様には、日頃からご理解、ご協力いただき本当にありがとうございます。こうして卒園という良き日を迎えられたことに感慨深い思いでいっぱいです。きっと保護者の皆様も、今日の子ども達の晴れ姿に、成長を感じると共に嬉しい気持ちで溢れていることでしょう。

今年のもり組の子たちは、私がメイプルキッズで施設長となったときに、つくし組として入園してきた子たちでもあります。

膝の上でミルクを飲んでいた頃が、つい昨日のように思い出されます。はこべ組から入園してきた子、2歳児から入園した子、また3歳児クラスでは、あらたに沢山の子が入園しました。真新しいリュックを背負っていたところが懐かしいですね。他にも途中から仲間入りした子もいて、仲間が増えていきました。

メイプルキッズ、そしてあかみ幼稚園で、保育者や友達との関わりや遊びを通して、たくさんのことを学んだ子ども達！

本当に立派に大きくなりました。

つい先日のこと、もり組の何人かの子が、「かっぱがいるから、川を汚さないでね」とメイプルキッズに伝えに来てくれた後のこと、2歳のA君が「ありがとう言いたかった」と、泣きながら愚図りだしました。私が「お兄さんの所に一緒に言いに行く？」と聞くと泣くのをやめて「うん」と頷きました。二人でもり組のところに行き、その子が「ありがとう」と伝えた後、急に「抱っこして」ともり組の子に向かって言いました。私も周りにいたもり組の子も一瞬びっくりしたのですが、1人のもり組の男の子が「こっちこそ、ありがとね」とそのA君にハグしてくれました。A君は大満足で嬉しそうに保育室に戻っていきました。ほんの些細なやりとりだったのですが、もり組の子の優しさがA君にも伝わったように感じました。A君は、さっきまで愚図っていたのがウソのように、保育室に戻るなり、「もり組さんにありがとうってきたよ」とご機嫌でした。

これからも、相手を思いやる気持ちを大切にしながら、大きく成長してくれることを願っています。

そして、たまには幼稚園にもあそびにきてくださいね。



懐かしい2歳の頃。みんな大きくなったね。

さて、話は変わりますが、先日、お父さんスタッフの方々に、子ども達のために遊びの中で使えるものを、手作りしていただきました。メイプルキッズでは、砂場で使える、テーブル、椅子、玩具をしまう棚等をお願いしました。とても素敵なものが出来あがり、子ども達も保育者も大喜び！！砂場での遊びが盛り上がっています。お父さんスタッフのみなさん、ありがとうございました。



もう一つ、子どもの成長について・・・

毎朝、ヤギを小屋から出して園庭に繋いでいるのですが、それを楽しみにしているメイプルキッズの子ども達・・・。

「メェメェのとこ行く」と毎朝の日課になっているようです。1歳児クラスのある女の子も毎朝ヤギに会うのを楽しみにしていて、いつも近寄ってきます。私がキャベツをとりだし、ヤギにあげようとしたところにその女の子がやってきて「ちょうだい」と言って手を出してきました。私が「どうぞ」とキャベツを渡すと「ありがと」と、とても自然に返してくれました。

思わず「どういたしまして、Mちゃん、ありがとうって言えるの、すごいね」と声を掛けました。Mちゃんはちょっと恥ずかしそうにキャベツをヤギにあげ始めました。

その後も毎朝、Mちゃんからの「ありがと」と「どういたしまして」のやりとりが続いています。Mちゃんは、他の場面や友達に対しても、とても自然に「ありがと」と言っていました。きっと、お家でもパパやママが自然と「ありがと」って言っているんだろうと、(勝手に)想像してしまいました。ちょっと前に話せるようになったと思っていたのに、毎日の生活を通してたくさんの刺激を受け、色んな言葉を覚えていくんだな～と、あらためて子ども達の成長を嬉しく感じました。これからも、子ども達の成長を保護者の皆さんと喜び合っていけたらなと思っています。

一年間拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。



(文責：新井)